

公述人20(会場②さいたま新都心合同庁舎)

意見発表箇所		⑤ご意見
章	頁	(意見ごとにできるだけ200字以内で記載してください)
全	体	<p>わが国では、ダムを造る理由として、治水、飲料水確保、などが言われているが、最近では、真実を追究している学者・研究者・市民などから、「これらの理由はすでに満たされていて、今更、新しくダムを作る必要はない」という声が各地で上がっている。</p> <p>一方、河川管理の当事者である国土交通省・その他の役人(公務員)は、このような研究者たちの研究の成果をほとんど無視して、洪水時の水量や、必要な飲料水量を過大に掲げて、無駄なダムをさらに作ろうとしている。</p> <p>それは、役人たちとダム建設業者がぐるになっている実態によるものだ。退職後に土建会社に再就職する役人の一覧表を見て、私たちは、驚いたり、腹を立てたりしたものだ。また、ダム工事を請け負った業者がダムが出来る地域の議員に高額の寄付をしていることも公表されている。それでも議員たちは黙っている。本当にもらっています、と議員自身が証明しているのだ。また、東京に住んでいると、石原前都知事の度重なる八ツ場ダム必要論も全く馬鹿げたものであった。年取ったナー、という感じもした。</p> <p>八ツ場ダムでは、洪水時の河川の流量を国交省が実際の予測より増やして、あくまでダムを造ろうとしている。研究者が大きな台風が来ても、そんな洪水量にはならない、と発表しても、応じようとしない。このような状況の中で、国土交通省関東地方整備局が公聴会を開くと言い出した。形式的なものかな、と誰でも思ってしまう。前回もひどいものだった。私たちの口述時間は短かったし、口述の中で質問をしても、回答はなかった。じゃあまた、一方的に、叱りとばしてくるか。</p>